

## 市民が提案する多摩の実験

- グリーンネックレス@Chuo-Line -

特定非営利活動法人 グリーンネックレス  
代表 野口由紀子

東京の西の郊外を東西に一直線に横断している鉄道がJR中央本線。その、三鷹から立川まで13.1キロが高架化されます。新しい景観となる、コンクリートの高架橋の長い壁はどんな風になる。

### 想像しよう！新しい武蔵野

グリーンネックレスは、出現する3階建ての高さとなる高架橋を、武蔵野らしい景観・ランドスケープに見立てて自由に発想する、市民が束なった市民活動団体です。

沿線6市（武蔵野、三鷹、小金井、国分寺、国立、立川）は市境の垣根を越えて連携するだろうか、と、日頃使っている鉄道の大リニューアルに、好奇心を抱いた、というのがそもそものはじまりでした。時は1999年、新世紀への期待とあいまって想像力大集合というわけです。

2000年の公開サミットでは、6市長に抱負を語ってもらいました。こうして沿線市民が提案する多摩の実験は帆をあげました。

事業計画概要を開き予算額を把握してみると、ガソリン税等の国庫補助を得て自治体が賄う事業であることから、各市のまちづくりプランとも合致しています。

ちょうど沿線各市は市民参加のまちづくりのマスタープラン策定の時期ともあって、情報が共有されていたことも6市長出席の公開サミット開催の追い風となりました。

鉄道高架化は都の連続立体交差事業の一環です。2分間隔で走る列車、開かずの踏切など、都市計画上の諸々の問題を解決するために、沿線6市は連続立体交差事業促進協議会をつく

って国に働きかけたいきさつがあります。工事着工までに30年余を有したという、念願の100年規模とされる公共事業です。

### つながろう！武蔵野の土と水と緑

Chuo-Lineは東京の象徴です。グリーンネックレス構想と沿線まちづくりの『つながぎ』は何だろうと地形図を拡げる。武蔵野台地は多摩川の集水域で、分水嶺を開削した玉川上水は鉄道と交差し、上にJR中央線三鷹駅がある。かつての江戸への水道は、今、武蔵野の緑道となって分水嶺の縁を彩っています。乏水地だった武蔵野は、水とともに開拓されたのでした。

ならば、平成ならではの知恵もあるにちがいない。キーワードは『雨水』！

鉄道軌道に降る、年間およそ17万トンと試算される雨量は一つの湧泉に値します。武蔵野のセンターラインを雨水が『つながぎ』となる。都市化する大地の土と水と緑をつなぐ雨水活用デザインがグリーンネックレス構想のテーマの一つとなりました。

沿線を歩いてみると、大地が乾いていることがよくわかります。例えば畑地、ハウス栽培は水道水を多量に使っています。宅地化で井戸は埋められていきました。私たちは、水道水（有料だ）で育てた野菜を食べているのです。大学が多い地域だから、キャンパスがオアシスだったらと、鉄道脇に位置する東京農工大で、高架橋に降る雨水を導水したピオトープ設計案を大学、都、JR、市に提示。この事例を持って、2003年第3回世界雨水会議分科会（京都）のポスターセッションにも参加しました。琵琶湖疎水に匹敵できる『JR疎水』だって、実は可能なのだ。ポスターセッション（京都 鴨川）



## まちに降る雨の活用

武蔵野の荒野は水で拓かれ、鉄道が人を運びました。まさに『東京の西部開拓史』です。

武蔵野を潤す手立ての雨水の仕掛けが、Chuo-Lineにあつたら。

有名なジブリ美術館の屋上はらっぱや、湧水散歩の国分寺崖線の景観も、井の頭、武蔵野、野川、武蔵国分寺の自然公園や国営昭和記念公園も、各地の泉も、植木畑もみずみずしく息を吹き返すことでしょう。

私たちは摩天楼のオフィス街とわが家の郊外を行き来しています。車窓から次第に大きくなる空、家並を彩る大樹、ドアが開いたとき入り込んでくる気持ちのよい風。武蔵野のルーラルティ(田舎らしさ)を損なうことなく、開発が、美しい都市を完成させるならどんなに素敵でしょう。新田開発時代からの生産農家もあります。JRとJAにウイックしながら、グリーンネックレス(GN)は、いますぐできることから始めよう!と、まちに降る雨を一時貯留し、緑を育てたり台地を潤す仕掛けを作りだしました。

## 雨だるま緑化基金

まちに降る雨の活用の実際を街角でみることでできたらと、植木生産者の苗畑に雨水貯留槽設置を働きかけてみました。苗畑は結構な水量を使う。下水道代金は支払わないで済んでも上水代は高額です。雨水活用装置は、初期投資に見合うことがわかりました。『雨だるま』の命名は、この最初の設置場所に石だるまが置かれていたことによります。

GN水プロジェクトでは、街角のデッドスペースに雨を溜め活かせる場所がないか探しました。意外なことが判明。商店街には商業振興策でたくさん花壇があり、その水やりに腐心していました。蛇口が街角にあつたら便利だろう。それも商店街のビルの屋上雨水で花咲く街にできたらもっといい、かつ、花壇がメンテナ



JR中央線の高架化工事説明会 東小金井駅(2000.9)

ンスフリーならなおい。となつて商店会と一緒に具体化を検討。商店会は振興策プログラムに雨水活用装置設置を組み、グリーンネックレスはこの機運を迅速に進めるために資金の一部を負担しようと雨だるま緑化基金を設立。第2号は、冬枯れの街角を彩っています。設置作業には専門家たちに混じつて花づくり自慢の主婦たちも参加。雨を使う仕掛けの実際を学習しました。第2号をモデルにあちこちに『雨だるま緑化』をひろめようと、ビルの隙間をネズミよろしく駆け回つて、気分はマウスの街角美化装置設置隊といえそうですね。

## 『雨だるま緑化基金』募集!

募金額：1口1千円

振込先：

多摩中央信用金庫  
小金井支店

口座名：

特定非営利活動法人  
グリーンネックレス

番号：2291071

NPO法人グリーンネックレス水プロジェクト

〒184-0004 小金井市本町 5-7-16「武蔵野から」

TEL 042-385-3191 FAX 042-385-7037